



## ボランティアニュース

Vol. 190 2019年8月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦與

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel.045-711-2351 (代表)

ホームページ <http://kcmc.jp/volunteer/>

e-mail [kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp](mailto:kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp)

こども医療センターを彩る人びと

アートディスプレイ 菊島 紘子

大勢のアーティストが、こども医療センターの入院・通院の子ども達やご家族、職員の皆さん、私たちボランティアを慰め、カブけ楽しませて下さっています。アートディスプレイでは、そのアーティストの皆さまのごく一部の方がたですが、順次ご紹介させて頂きます。

\*後藤 久さん 当センター元お医者様で画家の後藤先生の作品です。水彩画の美しい花々、油絵の風景画や静物画が多数寄贈されています。大きな油絵は常設展示になっていますが、小さな水彩画は季節に合わせて飾っています。



\*ヨシタケシンスケさん 大きな、こども丸を描いてくださいました。



今年の七夕短冊に「こども丸をつくりたい」と書いてくれたお子さんがいました。総合待合ホールの柱には、子ども達いっぱいいのrocketの絵が展示されています。シンスケさんの絵は、楽しくて温かくて嬉しいが込みあげてきます。皆が笑顔になる絵です。センターのあちこちにシンスケさんの絵がありますよ。



**\*石原 真理さん**、ドクターさとり、石原さん 独特のキャラクターです。このキャラクター達の話し声やうた声や歓声が聞こえてくるようです。患者図書に所属していて、季節や行事に合わせた作品を沢山描いてくださいます。患者図書室には、石原さんのぬり絵や、間違い探しぬり絵もあって子ども達は色塗りしたり楽しく遊んでいます。



**\*平和学園小学校** 世界の子どもの絵を提供してくださいましたのは、茅ヶ崎市の平和学園小学校です。この小学校には世界の子どもの絵が沢山保管されていて、その一部を期限なしでお借りしています。世界の子どもの生活が生き生きと見えて、楽しいです。3年前に20作品、今年5月に75作品の絵を提供してくださいました。国旗 国名 年齢を記入しました。



**\*桑原美和子さん** イラストレーターの桑原さんはオレンジクラブの元仲間です。兄弟お預かりで活動していました。

桑原さんの、365 happy day は大きな作品で、大勢の子ども達の笑顔いっぱいの絵です。今回17点の作品を寄贈してくださいました。どれも可愛くて温かくて、家族待合室に飾りました。家族待合室のご家族はこの絵を見てホッとされるのではないのでしょうか。



**オレンジクラブ応援者の牧田さんより**

一九九五年一月十七日の神戸淡路大震災の時、私のボランティアを始める切っ掛けをくださった方が私のケーキ教室の生徒さんでした。彼女が「寄付をしたいけど少額では・・」とためわかれていたのを聞き、皆で焼き菓子を作り販売し売り上げを神戸の肢体不自由児施設へ送らせて頂きました。これを機に色々特技のある友人に参加して頂きながら自宅を開放してバザー

を行い寄付させていただきました。

二年前に以前住んでいた茅ヶ崎の家に戻り、バザーを再開いたしました。参加してくださるのは近所の御老人、近所に転居された若い方々、近くにある老人ホームの方々です。その老人ホームに入居している義母を訪ねるたびに、お一人でお食事されている方、庭にもお部屋にまつすぐ帰られる方等に、何か楽しみを差し上げたたいと庭を開放し、ボランティアの方の助けを借りながら、ランチ、喫茶、ケーキ販売、リサイクル品を売る等を行っています。小さいことですが徐々に輪が広がり、私の好きなお料理、ケーキ作りが少しでも皆様の癒しになれば、私も幸せです。

(昨年今も牧田様から、ご寄付を頂きました。オレンジクラブは、牧田様のように多くの方々からご支援を頂いております。心から感謝申し上げます。オレンジクラブ代表三木美雪)

### 子供地球基金アートワークショップグループ

鳥居晴美

こども医療センターに通うようになって随分と月日が経ちますが毎回楽しみにしています。いつも新しい子どもたちとの出会いがあり、また子どもたちの生み出すアートとの出会いがあり感動の連続です。小さな子どもたちが、重篤な病気や心の病気と戦っている姿、また、じつと痛みに

耐えているけなげな姿を見ると心が痛みます。また同時にその姿に勇気もらい、子どもたちが頑張っているのだから私も頑張らなくてはいつも励まされています。

プレールームや個室での子どもと絵を描くワークショップは皆んな楽しみにしてくれています。絵を描いている時は病気や治療を忘れ笑顔に戻ります。子どもたちはみんな夢中になって描いて時間も忘れ、自分の世界に入り込んでいます。真っ白い画用紙に絵の具を落とし自分の創り出したアートを満足気に眺め病室に飾る子どもやお母さんにプレゼントしたいという子どももいます。

病棟でのワークショップではいつも戦っている絵を描く子や真っ黒で画面を塗り潰してしまう子どももいます。また絵を描きながら自分の病気の事を話し出す子どももいます。私たちから決して病気の事を聞く事はありませんが、絵を描き出すときと沢山自分の思いを聞いて欲しいという気持ちになるのでしょうか。描いた後、子どもたちは一様に楽しかった！スッキリした！気持ち良かった！と言います。

絵を描くことで吐き出し効果があるのです。大人はお酒を飲んだり愚痴を言ったり様々なストレスマネージメントをする方法がありますが、子どもたちにとってはあまりすべがありません。時には暴力的になったり逆に自分を閉じ込めてしまう子どももいます。絵を描く事は最もプリミティブ

なそして誰もが出来る表現方法です。

以前アフリカに支援活動に行った時、貧しい為、子どもたちはクレヨンやパクパク食べてしまいましたが、それでも大地と指があれば絵を描けます。

子供地球基金の活動は今年で三十一年目を迎えました。戦争、災害、貧困、病気、様々な理由で心に傷を負った子どもたちと絵を描くワークショップを行い表現する事の大切さを伝えていきます。どんなに苦しい時でも絵を描くことで自分の心に耳を傾け、現実を受け止め逃避せず、力強く明日に向かって生きていって欲しいと願っています。

これまでに行ったワークショップは二千回を超え子どもたちのメッセージを送っている展覧会活動も三千回を超えました。

そして子どもたちのアートは様々なデザインに起用され子どもたちの力で他の子どもたちを助け心の輪が世界中に広がっています。



ぼぼんた通信は次号の夏休み特集に掲載します。

2019年8月				
月	火	水	木	金
			1	2
			シャインオンキッズ 5 西 14:00	
5	6	7	8	9
おもちゃ/肢体 am、肢体 pm にじいろえほん箱 /総合待合	アートワーク/5 西 外来スタッフミーティング	Sホスピタ/5 西		Sホスピタル/こころ
12	13	14	15	16
	Hクラウン/am4南・重心 pm、総合待合・4西 おもちゃ外来 10:00～15:00			おもちゃ/4 南 am、4 西 pm
19	20	21	22	23
英語で遊ぼう 肢体 10:00～	マジック 肢体 10:30 フラダンス/重心・総合待 合・こころ	縫製 手芸 Sホスピタ/5 西	ステッカーアート/ 4 東、4 西クリーン 作業(ポラルーム)	Sホスピタル/肢体 ゴスペルコンサート 総合待合 11:30～
26	27	28	29	30
オルゴールで遊ぼう クリーン 13:30～ 5 西 15:00～	Hクラウン/am クリーン・ハイ ケア 2 pm、総合待合 5南 盲導犬/こころ、肢体 近代美術館アート肢体 10:00 園芸		ピカチュウ 病棟訪問	

24日モンゴルを楽しもう  
4東・5西・4西

- ・毎週月曜 フラワーアレンジメント
- ・毎週火曜日 高野さんとピアノで歌おう 10:00～10:45
- ・毎週月・水・金曜日 きょうだい預かり 10:30～16:00
- ・毎週火・金曜日 重心作業・月～金曜日 患者図書/外来
- ・8月第1・4水曜日 ぽぽんた本貸し出し

その他の活動

- ・チャイルドウィッシュきょうだい預かり 毎日曜日 13:30～15:30
- ・ピアサポート 火～金曜日 10:00～15:00

(今月号からヨシタケシンスケさんから新しく頂いたイラストを紹介していきます。)

